



2018年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2017年10月30日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社イチネンホールディングス
 コード番号 9619 URL <http://www.ichinenhd.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 黒田 雅史
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総合企画部長 (氏名) 井本 久子 TEL 06-6309-7890
 四半期報告書提出予定日 2017年11月14日 配当支払開始予定日 2017年11月30日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2018年3月期第2四半期の連結業績（2017年4月1日～2017年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年3月期第2四半期	40,756	4.1	3,081	9.1	3,105	15.3	1,924	△3.0
2017年3月期第2四半期	39,158	10.2	2,824	2.6	2,693	△2.8	1,983	12.9

(注) 包括利益 2018年3月期第2四半期 2,598百万円 (61.6%) 2017年3月期第2四半期 1,607百万円 (△6.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2018年3月期第2四半期	78.23	—
2017年3月期第2四半期	80.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2018年3月期第2四半期	118,768	28,913	24.3	1,175.39
2017年3月期	114,981	26,782	23.3	1,088.76

(参考) 自己資本 2018年3月期第2四半期 28,913百万円 2017年3月期 26,782百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年3月期	—	17.00	—	19.00	36.00
2018年3月期	—	18.00	—	—	—
2018年3月期(予想)	—	—	—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2018年3月期の連結業績予想（2017年4月1日～2018年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	84,000	5.4	6,000	5.6	6,000	8.8	3,690	△2.9	150.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2018年3月期2Q	24,612,227株	2017年3月期	24,612,227株
② 期末自己株式数	2018年3月期2Q	13,463株	2017年3月期	13,397株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2018年3月期2Q	24,598,790株	2017年3月期2Q	24,689,033株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2017年4月1日～2017年9月30日)におけるわが国経済は、経済政策や金融政策の効果により企業収益は改善しており、また、設備投資も持ち直すなど、緩やかな回復基調が続いております。しかしながら、米国の今後の政策動向、英国のEU離脱問題、緊迫化する北朝鮮問題を中心とした世界的な地政学リスクの高まりなど、先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは、事業を通じて、全てのお客様に「いちねんで、いちばんの毎日を。」ご提供し、社会に貢献できる企業を目指しております。基盤事業である自動車リース関連事業を中心に、ケミカル事業、パーキング事業、機械工具販売事業、合成樹脂事業を展開しております。また、既存事業の強化を進めながら、事業領域の枠にとらわれない新規事業への参入、規模拡大を目的とした積極的なM&A、海外展開にも挑戦しております。

当第2四半期連結累計期間の連結売上高は407億56百万円(対前年同期比4.1%増)、営業利益は30億81百万円(対前年同期比9.1%増)、経常利益は31億5百万円(対前年同期比15.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は19億24百万円(対前年同期比3.0%減)となりました。

第1四半期連結会計期間より、従来「自動車総合サービス事業」というセグメント名称で表記している同事業について、より事業内容に即した「自動車リース関連事業」に名称変更いたしました。なお、当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、下記のセグメント別売上高は、内部売上高消去前の金額であります。

<自動車リース関連事業>

リースにおきましては、リース契約車両は依然として小型化傾向にありますが、リース化の進んでいない地方市場及び中小規模の企業を中心に新規販売を積極的に行い、また、既存顧客との取引深耕にも注力した結果、2017年9月末現在リース契約台数は80,266台(対前期末比1,277台増)となり、リース契約高は167億89百万円(対前年同期比9.9%増)、リース未経過契約残高は703億81百万円(対前期末比3.0%増)となりました。

自動車メンテナンス受託におきましては、当社グループ独自の自動車整備工場ネットワークによる高い点検実施率を強みとしながら、契約台数、契約残高の増加に努めた結果、メンテナンス受託契約台数は84,816台(対前期末比4,318台増)となり、メンテナンス受託契約高は30億46百万円(対前年同期比1.0%増)、メンテナンス未経過契約残高は79億12百万円(対前期末比3.1%増)となりました。

燃料販売におきましては、主に自動車用燃料給油カードにおいて、低燃費車の普及により需要が減少傾向にありますが、既存顧客へのサービス向上並びに新規顧客の獲得に注力いたしました。

損益面では、リースは契約台数及び車両処分台数が増加したこともあり堅調に推移いたしました。自動車メンテナンス受託も契約台数が増加し堅調に推移いたしました。燃料販売は自動車用燃料給油カードの販売数量が堅調に推移し、また、仕入価格も安定的に推移いたしました。

この結果、売上高は232億27百万円(対前年同期比2.2%増)、セグメント利益は18億90百万円(対前年同期比7.7%増)となりました。

<ケミカル事業>

ケミカル事業におきましては、商品開発力の強化及び品質向上に取り組むとともに、付加価値の高い商品の販売に注力いたしました。

損益面では、工業薬品関連の燃料添加剤の販売は減少いたしました。石炭添加剤の販売は順調に推移いたしました。

また、化学品関連では機械工具商向けケミカル製品の販売が順調に推移し、個人向けケミカル製品の販売も堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は55億35百万円(対前年同期比3.7%増)、セグメント利益は6億97百万円(対前年同期比21.8%増)となりました。

<パーキング事業>

パーキング事業におきましては、中長期的に安定した収益基盤を築くため、更なる駐車場数の拡大に努めた結果、2017年9月末現在駐車場管理件数は1,196件（対前期末比43件増）、管理台数は29,162台（対前期末比1,607台増）となりました。

損益面では、新規駐車場の開発が順調に進み、また、既存駐車場の継続的な収益改善活動の効果もあり収益が増加いたしました。

この結果、売上高は26億61百万円（対前年同期比6.0%増）、セグメント利益は3億18百万円（対前年同期比12.0%増）となりました。

<機械工具販売事業>

機械工具販売事業におきましては、取扱アイテムの拡充、オリジナル製品の開発を促進するとともに商品調達コスト及び物流コストの軽減に努めてまいりました。

損益面では、空調工具及び計測工具の販売は減少し、機械工具及び自動車整備工具の販売も減少いたしました。また、株式取得関連費用などの販売費及び一般管理費が前年同期より増加いたしました。

この結果、売上高は64億83百万円（対前年同期比1.1%増）、セグメント利益は1億10百万円（対前年同期比53.4%減）となりました。

<合成樹脂事業>

合成樹脂事業におきましては、新規顧客の拡大及び新商品の開発を図るとともに品質改善に努めてまいりました。

損益面では、遊技機メーカーへの合成樹脂製品及び半導体実装装置メーカー等へのセラミックヒーターの販売が増加いたしました。また、科学計測器の販売も増加いたしました。

この結果、売上高は29億60百万円（対前年同期比28.9%増）、セグメント利益は71百万円（前年同期は45百万円のセグメント損失）となりました。

<その他>

その他におきましては、売上高は56百万円（対前年同期比3.9%増）、セグメント損失は16百万円（前年同期は11百万円のセグメント利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

<資産の状況>

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は423億27百万円となり、前連結会計年度末残高415億52百万円と比べて7億74百万円増加いたしました。これは「現金及び預金」の減少4億12百万円、「受取手形及び売掛金」、「電子記録債権」及び「リース・メンテナンス未収入金」を合わせた売上債権の減少3億3百万円、機械工具販売事業の販売計画に基づく在庫確保による「商品及び製品」の増加1億92百万円、自動車税等の納付による「前払費用」の増加8億99百万円、未収入金の増加等による「その他」の増加2億28百万円が主な要因であります。

固定資産の残高は764億1百万円となり、前連結会計年度末残高733億80百万円と比べて30億21百万円増加いたしました。これはオペレーティング・リース取引の契約増加による「賃貸資産」の増加16億14百万円、ケミカル事業における研究開発施設の建設等による有形固定資産「その他」の増加5億72百万円、時価評価等による「投資有価証券」の増加9億70百万円が主な要因であります。

繰延資産の残高は39百万円となり、前連結会計年度末残高48百万円と比べて9百万円減少いたしました。

以上の結果、資産合計は当第2四半期連結会計期間末残高1,187億68百万円となり、前連結会計年度末残高1,149億81百万円と比べて37億86百万円増加いたしました。

<負債の状況>

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は394億55百万円となり、前連結会計年度末残高401億5百万円と比べて6億50百万円減少いたしました。これは仕入債務の支払による「支払手形及び買掛金」の減少11億88百万円、「未払法人税等」の増加3億43百万円、ケミカル事業における旧研究開発施設の売却手付金等による「その他」の増加1億51百万円が主な要因であります。

固定負債の残高は503億99百万円となり、前連結会計年度末残高480億93百万円と比べて23億6百万円増加いたしました。これは「長期借入金」の増加24億11百万円、社債の償還に伴う「社債」の減少1億71百万円が主な要因であります。

以上の結果、負債合計は当第2四半期連結会計期間末残高898億55百万円となり、前連結会計年度末残高881億98百万円と比べて16億56百万円増加いたしました。

<純資産の状況>

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は289億13百万円となり、前連結会計年度末残高267億82百万円と比べて21億30百万円増加いたしました。これは「親会社株主に帰属する四半期純利益」の計上による「利益剰余金」の増加19億24百万円、配当金の支払による「利益剰余金」の減少4億67百万円、時価評価による「その他有価証券評価差額金」の増加6億59百万円が主な要因であります。

<キャッシュ・フローの状況>

当第2四半期連結会計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物の四半期末残高は、前連結会計年度末より4億12百万円減少し、11億23百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、△7億9百万円（前年同期は△5億46百万円）となりました。これは主に、「税金等調整前四半期純利益」が30億92百万円になったこと、オペレーティング・リース取引の契約増加により「賃貸資産の純増減額（△は増加）」△73億83百万円が「減価償却費」64億44百万円を上回ったこと、「法人税等の支払額」が△9億9百万円になったこと、「売上債権の増減額（△は増加）」が4億72百万円になったこと、「仕入債務の増減額（△は減少）」が△13億円になったこと、自動車税等の納付による前払費用の増加等により「その他」が△10億43百万円になったことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、△12億8百万円（前年同期は△18億34百万円）となりました。これは主に、ケミカル事業における研究開発施設及び機械工具販売事業に係る建物等の取得並びにパーキング事業における機器及び構築物の購入等による「有形及び無形固定資産の取得による支出」△12億30百万円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、15億5百万円（前年同期は27億38百万円）となりました。これは主に、「借入れによる収入」103億円が、「借入金の返済による支出」△81億32百万円、「社債の償還による支出」△1億81百万円及び「配当金の支払額」△4億67百万円を上回ったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績につきましては、現時点では、2017年7月31日に公表いたしました業績予想に変更はございません。なお、引き続き今後の業績動向を踏まえ精査しており、修正の必要が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2017年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,535	1,123
受取手形及び売掛金	11,723	10,983
電子記録債権	1,523	1,844
リース・メンテナンス未収入金	2,202	2,317
リース投資資産	17,032	17,126
商品及び製品	3,139	3,332
仕掛品	67	71
原材料及び貯蔵品	324	312
前払費用	2,247	3,146
繰延税金資産	481	565
その他	1,283	1,511
貸倒引当金	△8	△7
流動資産合計	41,552	42,327
固定資産		
有形固定資産		
貸貸資産	107,908	110,791
減価償却累計額	△60,265	△61,533
貸貸資産(純額)	47,643	49,257
土地	6,246	6,334
その他	15,730	16,755
減価償却累計額	△8,470	△8,923
その他(純額)	7,259	7,832
有形固定資産合計	61,150	63,424
無形固定資産		
のれん	2,315	2,051
その他	2,150	2,328
無形固定資産合計	4,466	4,380
投資その他の資産		
投資有価証券	3,833	4,804
長期前払費用	1,739	1,691
繰延税金資産	546	317
その他	1,771	1,879
貸倒引当金	△127	△95
投資その他の資産合計	7,763	8,596
固定資産合計	73,380	76,401
繰延資産	48	39
資産合計	114,981	118,768

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2017年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,124	10,935
短期借入金	4,000	4,100
コマーシャル・ペーパー	4,000	4,000
1年内償還予定の社債	362	352
1年内返済予定の長期借入金	16,131	15,923
リース債務	70	48
未払法人税等	756	1,100
リース・メンテナンス前受金	727	781
賞与引当金	480	608
品質保証引当金	15	15
その他	1,438	1,589
流動負債合計	40,105	39,455
固定負債		
社債	10,486	10,314
長期借入金	35,323	37,734
リース債務	22	10
退職給付に係る負債	1,489	1,488
役員退職慰労引当金	135	146
資産除去債務	300	311
その他	335	393
固定負債合計	48,093	50,399
負債合計	88,198	89,855
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,529	2,529
資本剰余金	1,805	1,805
利益剰余金	21,493	22,950
自己株式	△13	△13
株主資本合計	25,814	27,270
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,071	1,731
繰延ヘッジ損益	△5	1
退職給付に係る調整累計額	△97	△90
その他の包括利益累計額合計	968	1,642
純資産合計	26,782	28,913
負債純資産合計	114,981	118,768

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)
売上高	39,158	40,756
売上原価	29,880	31,000
売上総利益	9,277	9,755
販売費及び一般管理費		
役員報酬	390	416
給料手当及び賞与	2,068	2,126
賞与引当金繰入額	470	488
退職給付費用	135	124
役員退職慰労引当金繰入額	16	15
貸倒引当金繰入額	9	16
品質保証引当金繰入額	3	5
のれん償却額	264	270
その他	3,094	3,210
販売費及び一般管理費合計	6,453	6,674
営業利益	2,824	3,081
営業外収益		
受取配当金	36	37
仕入割引	39	27
その他	46	31
営業外収益合計	122	96
営業外費用		
支払利息	61	46
支払手数料	172	10
その他	19	15
営業外費用合計	253	72
経常利益	2,693	3,105
特別利益		
固定資産売却益	447	0
投資有価証券売却益	0	2
国庫補助金	—	28
特別利益合計	447	31
特別損失		
固定資産除売却損	49	15
投資有価証券売却損	0	—
固定資産圧縮損	—	28
特別損失合計	49	44
税金等調整前四半期純利益	3,091	3,092
法人税、住民税及び事業税	991	1,265
法人税等調整額	117	△97
法人税等合計	1,108	1,167
四半期純利益	1,983	1,924
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,983	1,924

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)
四半期純利益	1,983	1,924
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△379	659
繰延ヘッジ損益	△5	7
退職給付に係る調整額	9	7
その他の包括利益合計	△375	673
四半期包括利益	1,607	2,598
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,607	2,598

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,091	3,092
減価償却費	6,046	6,444
のれん償却額	264	270
貸倒引当金の増減額(△は減少)	8	16
受取利息及び受取配当金	△38	△38
支払利息	61	46
売上債権の増減額(△は増加)	1,280	472
たな卸資産の増減額(△は増加)	△265	△87
リース投資資産の純増減額(△は増加)	56	△281
貸貸資産の純増減額(△は増加)	△6,451	△7,383
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,274	△1,300
利息及び配当金の受取額	38	38
利息の支払額	△49	△46
法人税等の支払額	△1,540	△909
法人税等の還付額	17	0
その他	△1,791	△1,043
営業活動によるキャッシュ・フロー	△546	△709
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△3,247	△1,230
有形及び無形固定資産の売却による収入	1,340	2
固定資産の除却による支出	△3	△3
投資有価証券の取得による支出	△10	△12
投資有価証券の売却による収入	101	7
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	29
その他	△15	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,834	△1,208
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,400	100
短期借入金の返済による支出	△15,800	△25
コマーシャル・ペーパーの純増減額(△は減少)	1,000	—
長期借入れによる収入	19,200	10,200
長期借入金の返済による支出	△7,734	△8,107
社債の発行による収入	4,973	—
社債の償還による支出	△461	△181
リース債務の返済による支出	△10	△2
配当金の支払額	△423	△467
その他	△405	△10
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,738	1,505
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	357	△412
現金及び現金同等物の期首残高	1,484	1,535
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,842	1,123

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	自動車 リース 関連事業	ケミカル 事業	パーキング 事業	機械工具 販売事業	合成樹脂 事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	22,685	5,229	2,511	6,380	2,296	39,103	54	39,158	—	39,158
セグメント間の内部売上高又は振替高	52	106	—	32	—	191	—	191	△191	—
計	22,737	5,336	2,511	6,413	2,296	39,294	54	39,349	△191	39,158
セグメント利益又は損失(△)	1,756	572	284	236	△45	2,804	11	2,816	8	2,824

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産の賃貸及び管理等であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	自動車 リース 関連事業	ケミカル 事業	パーキング 事業	機械工具 販売事業	合成樹脂 事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	23,171	5,439	2,660	6,468	2,958	40,699	56	40,756	—	40,756
セグメント間の内部売上高又は振替高	56	95	0	14	1	167	0	168	△168	—
計	23,227	5,535	2,661	6,483	2,960	40,867	56	40,924	△168	40,756
セグメント利益又は損失(△)	1,890	697	318	110	71	3,089	△16	3,072	8	3,081

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産の賃貸及び管理等であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(セグメントの名称の変更)

第1四半期連結会計期間より、従来「自動車総合サービス事業」というセグメント名称で表記している同事業について、「自動車リース関連事業」に名称変更いたしました。なお、当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報についても変更後の名称で記載しております。